

企業名 有限会社 ムラマツ建装
 代表者 村松 正一
 所在地 安達郡東和町木幡字小鍛冶山101 - 1
 TEL 0243 - 46 - 3160
 資本金 500万円
 従業員数 16名(男性15人・女性1人)
 事業内容 軽量天井下地工事・軽量下地間仕切工事システム天井工事・内装仕上げ工事一式
 主要取引先 (株)丸西・丸三商事(株)・協林工業(株)
 大和工商リース(株)

企業の特徴

当社は、現在の社長が父親の勤めていた東京の内装工事の会社に見習として勤めたことがきっかけとなりました。その当時の仕事の内容は、軽量鉄骨を加工して天井や壁を作り石膏ボードを張るのが主な仕事でした。

また、農家の長男と言うことで農繁期には家の農作業を全て終えてから東京へ行って仕事をするということの繰り返しでした。

昭和30年代の後半は高度成長期の始まりで、東京オリンピックが開催されることに伴い、ホテル・マンション・地下鉄の駅や東海道新幹線開業に伴う駅ビル等の建物が数多くできましたのでとても忙しかったそうです。その中で先輩たちの指導を受けながら技術を身に付け、また、新工法ができればその技術も身に付け、さらに身に付けた技術を磨きながら、東京で6年間内装工事の仕事を続け体で覚えたそうです。

昭和45年に結婚をきっかけとして地元の東和に戻り、東京で身に付けた内装工事の仕事を福島でやろうとムラマツ建装として独立し仕事を探しましたが、その当時では軽量天井下地およびボード工事の仕事は特別な工事で、福島県内で取り扱っている会社はありませんでした。

そこで隣の宮城県まで仕事探しを拡大し、仙台市にある(株)丸西という会社に出会いました。その頃はボーリングがブームとなり、ボーリング場が次々と建設され始め、東京で身に付けた技術を応用できると確信し受注しましたが、平らな天上と違い特殊なアーチ型等色々な形状があり、技術的には大変でしたがお金にもなりましたので、東北6県はもとより栃木県・茨城県まで受注エリアを広げ、さらに技術的にも高く評価され売上も順調に伸びてきました。

昭和55年には内装工事の技能検定制度ができ第1回目の検定に合格し、その後、東北でも数少ない検定委員に任命され、13年間にわたり内装工事分野での検定委員を務め、その功績が認められて平成5年に建設大臣より顕彰状をいただいた実績もあります。

その後の業容拡大に伴い、昭和63年5月には法人として設立し、また、従業員の技術をより向上させるために各種技能士等の資格を取得させており、体育館などの高い天上のシステム工事・高層ビルの天上工事等については得意分野になりました。最近の主な工事としては、郡山にある高層ビルの福島ビッグパレットの工事に携わり技術力を発揮することができました。

これからの経営方針としては、全般的に厳しい情勢ですが、内装工事のレベルアップと技術・技能の向上に全力をあげて取り組み、このような厳しい時代を乗り切り生き残ってこそ真の企業としての価値があると考え、これからも社員一同今まで以上により良い仕上げに心がけ、多くの信頼を得られる企業を目指して前進したいと熱く語ってくれました。



完成した福島ビッグパレットの外観天上風景



(株)ムラマツ建装事務所